

2組

企画提案



2組メンバー紹介

natsuki



コミュニケーション
能力を高めたい

hiro



まちづくりの知識を
つけるため

uru



クリエイトに
興味を持ったから

yumena



人脈を広げたい

yoshino



地域のまちづくりに
貢献するため



私たち2組は

行動力

チームワーク

主体性

があるチームです！



1. HR活動



2023 10/25 11/9

第1回目

青森市中心商店街まち歩き

2023 11/26

第2回目

イベントのつくり方を知る

2023 12/16

第3回目

自分たちでイベントを企画しプレゼン

2024 1/4

第4回目

2組で実施する企画を検討する



2. 企画検討

メンバーのりんご農家のおばあちゃん

→**規格外野菜**の存在を知る



規格外のものでも味は
変わらず美味しい！

他にも…

メンバーが持ち寄った企画が**飲食**に関する内容が多かった

これらの理由から

**農家さんと連携し、規格外の
青森県産野菜を使って、
食品ロス削減&地域活性化**

SDG's12

つくる責任 つかう責任の達成

を目指す！！

青森県の食品ロス削減を目的とした活動



青森県庁HPより

規格外野菜は

形や見た目に不揃いがあるため売れず、
たとえお店やネットショッピングで売られているとしても
なかなか購入しづらい

➡ **形や見た目が分からなく
できるものにしよう!!**

例えば

どちらも見た目を気にすることがない

煮リンゴ

スムージー

- 作るのに**時間と手間**
- 少々**面倒**
- カットして混ぜるだけで**お手軽**
- **短時間**

スムージー
が最適！

「青森の食材をもっと知ってほしい」
「青森の地元から愛されるものになってほしい」
「食品ロス削減につながってほしい」

企画タイトル

AomoRE:スムージー

3. 企画計画



私たちの目的

ビジネス視点でロス商品を使ったスムージーを販売

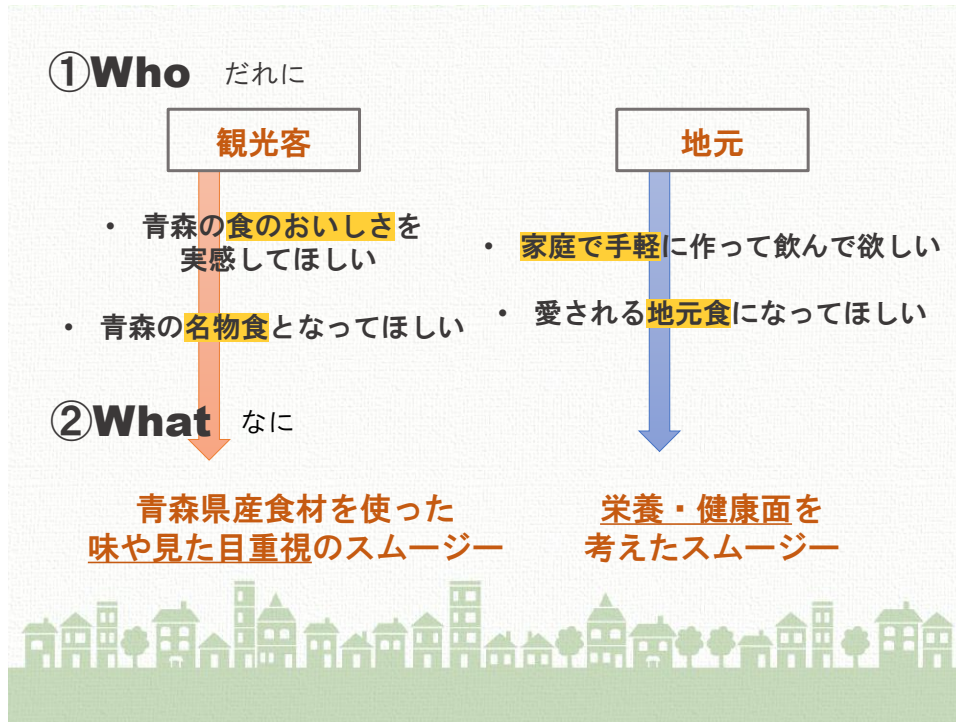


高校生が地域の人々やお店と連携



新しい観光資源を増やして地域活性化を図る





企画計画材料検討班

②What なにを

試作品 1回目 りんご×長いも×いちご×牛乳

場所：メンバーの自宅

学んだこと：

- 長いもといちごが青森で生産されているということ
- りんごは酸化しやすいため塩水やレモン水に浸すと良い



企画計画材料検討班

試作品 2回目

場所：東奥日報ビル キッチンスタジオ

助っ人：ラーメン屋 一翔さん

- ・ テーマは食品ロスとして営業
- ・ 野菜農家さんという一面

学んだこと：

- ・ 第1回目の長いもと果物の組み合わせは腸にガスがたまりやすい
- ・ スムージーの材料は3種類までがいい
 - ・ ミキサーの効果的な使い方



企画計画材料検討班

試作品 2回目

日本No.1の生産量を誇る
青森県産リンゴ

一翔さんで提供されている
小松菜とバナナのスムージー

小松菜 × リンゴ × バナナ



企画計画材料検討班

試作品 2回目

小松菜×リンゴ×バナナ

- ・ 栄養のバランスがよく、リンゴの酸味が丁度よく引き立つ
- ・ スムージーは三種類以上混ぜないのが味が上手くまとまり、おいしくなるコツ



③Where どこで

- ・ 青森市の交通の中心
- ・ 人が集まる
- ・ 他の場所から訪れる人と青森をつなぐ場所
- ・ 船着き場が近い

青森駅ビル ラビナ



企画計画実施方法検討班

会場デザイン

- 現場交渉
- 動線作成
- 開場レイアウト



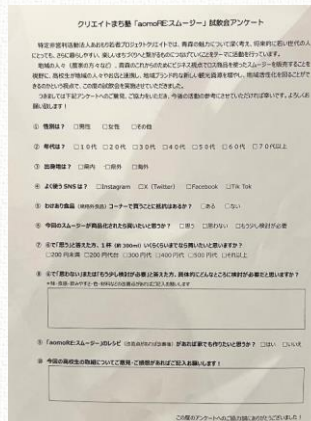
企画計画実施方法検討班

アンケート作成 ➡ 改善に向けて
直接消費者の意見を取り入れる



青森大学
榑引教授 とのzoom

事前に考えていた案の
問題点にアドバイスをいただいた



実際に作成したアンケート



4. 企画実施

試飲会当日

材料：りんご農家 品川さんから頂いた**ふじりんご**
ラーメン屋 一翔さんから頂いた**小松菜**と**バナナ**
市販の水と氷

量：一人60ml × 300人分(観光客分100・地元客分200)

レシピ：

高校生が農家・企業と連携して作りました！

asomo 産: スムージーレシピ

グラス2杯分 (400ml)

●材料

- ・りんご (ふじ): 90g (約 1/3 個)
- ・バナナ: 110g (約半本)
- ・小松菜: 40g (約1株)
- ・水: 160g

●調理方法

- ①各材料をカットする
 - ・りんごは皮ごとざく切り
 - ・バナナは適当に手で割る
 - ・小松菜は根を切る
- ②ミキサーに小松菜と水を入れ回す
(途中止めながらなじむ状態を確認)
- ③バナナを入れ回す
(途中止めながらなじむ状態を確認)
- ④りんごを入れ回す
(途中止めながら粒がなじむ状態を確認)
- ⑤グラスにそそいで出来上がり！

試飲会当日

●部屋借用

- ・休憩室：調理・休憩・荷物置
- ・給湯室：調理器具洗い
- ・ゴミ捨て場：ゴミ処理

●全体

- ・スタッフ章：6枚
- ・弁当：6個

●調理班

- ・雑巾：2枚
- ・ゴミ袋：1袋
- ・ミキサー：1台
- ・タッパー4L：5ケース
- ・食品パック：1式
- ・ラップ：1本
- ・包丁：2本
- ・まな板：2枚
- ・手袋：1箱
- ・洗剤：1本
- ・スポンジ：1個
- ・クーラーBOX：1台
- ・氷：4袋
- ・食材10L分：1式（現地調理）

●会場班

- ・重手：6組
- ・備品箱：1式
- ・ガムテープ：1巻
- ・養生テープ：1巻
- ・告知POP A2：3枚

【誘導】

- ・マジック：1式
- ・スクッチブック：1枚（案内内容作成）

【アンケートコーナー】

- ・アンケート用紙（QR）：4枚（予備2枚）
- ・アンケート用紙（差）：200枚
- ・バインダー：10枚
- ・筆記用具：20本
- ・箱：1箱（案内内容作成）
- ・コーナー案内POP A3：1式2枚
- ・*L字POPスタンド：1台
（コーナー案内POP用）

【展示コーナー】

- ・取材POP A3：2式1枚ずつ
- ・クワイエット紹介POP A3：1枚

*テーブル：3台

*仕切：2式

*A2看板：2式（告知POP用）

*台車：1台（会場資材運搬用）

【試飲コーナー】

- ・ゴミ袋：4袋
- ・雑巾：2枚
- ・紙コップ：336個
- ・トレイ：3枚
- ・ふきん：4枚
- ・両面シール：1式
- ・布（ブラコン）：3枚
- ・取材POP A3：2式1枚
- ・クワイエット紹介POP A3：1枚
- ・レシビ紹介POP：1枚
- ・コーナー案内POP A3：1式2枚
- ・*L字POPスタンド：1台
（コーナー案内POP用）

*元々種より借用分



前日から不足がないか確認

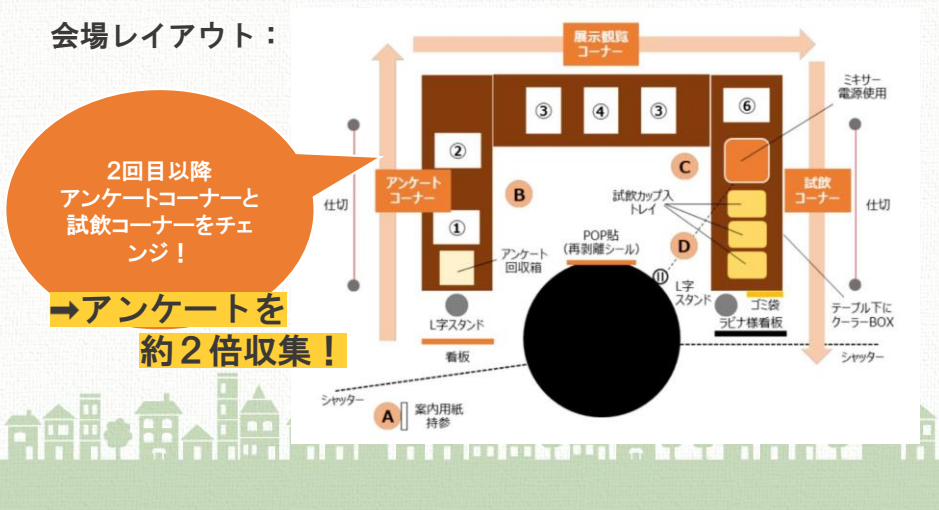


試飲会当日

日付：2024 2/24

時間：三部制 ①10:00～ ②12:00～ ③14:00～

会場レイアウト：



試飲会当日

結果は…

完売

&

約200人分のアンケートを収集

（紙媒体148人 QRコード46人）

お越しいただいた皆さん、アンケートにご協力して
くださった皆さん、ありがとうございました！



試飲会当日の様子



アンケートのご協力
お願いします！

スムージーの試飲会
行ってます！



いただいたご感想

※アンケートより一部抜粋



わけあり商品を無駄にすることがなくいい取り組みだと思う
健康にもいいし、いろんな味を出してほしい！



これからの将来を背負っていく学生が、これからの青森の魅力について考えることはすごくいいと思う！



様々な年代・思いの人がごちゃまぜにいるのが地域というもので、そんな中で多くのひとに出会って楽しんでください！



東奥日報より



ATVより

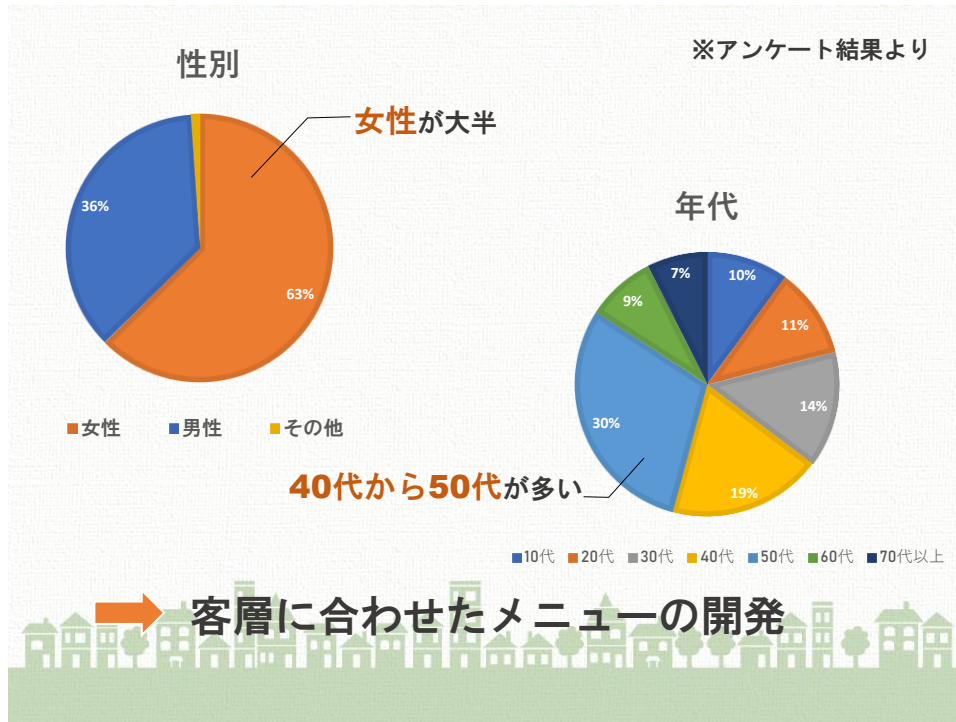
5. 展望



ずばり！

商品化して販売したい！





スムージー制作等について
アドバイスをいただきました！

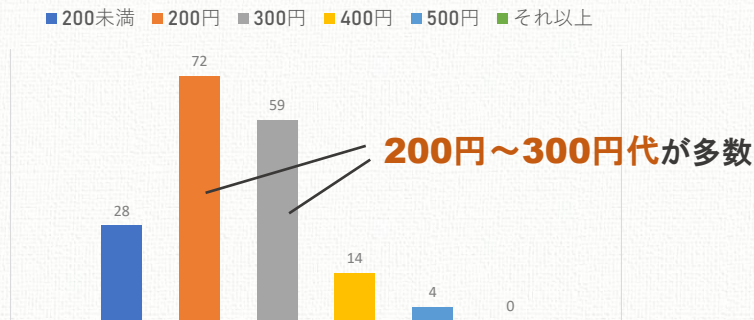
- 細かくしたリンゴをスムージーにのせてアクセントにする！
- 流行りのワンハンドスティックを採用する
- 食品ロス自販機で協力する etc...

ラビナ 代表取締役社長
紺野さん

インタビューに御協力いただき
ありがとうございました！

※アンケート結果より

金額



例) セブンの ベリーベリーヨーグルトスムージー 税込み330円
グリーンスムージー 税込み300円

→ 売上を考慮すると **300円~400円代**が理想

※アンケート結果より

sns

1位 Instagram 109票

2位 X(twitter) 56票

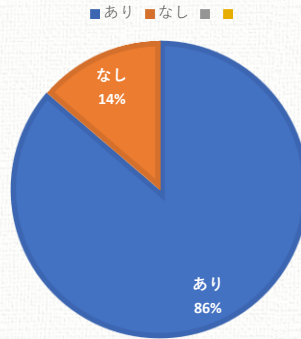
3位 Facebook 28票

4位 TikTok 16票 ※複数回答

→ **Instagram**を中心に発信

※アンケート結果より

レシピがほしいか



レシピの需要度が高い



クリエイト活動・企画を通して

- 実際に体験することで苦勞や仕事、努力を自分の身で体感できた！
- 自分たちは青森に貢献できる存在であることを体現できた！
- 青森の魅力に改めて気づいた！



最後に

- ・ ラーメン屋 一翔さん
- ・ リンゴ農家 品川さん
- ・ ラビナ取締役社長 紺野さん
- ・ 青森大学教授 櫛引先生
- ・ クリエイトまち塾 スタッフの皆さん

ご協力ありがとうございました！

